

2022年2月28日

【緊急声明】

ロシア、プーチン政権によるウクライナへの軍事侵略の即時中止を求めます
平和憲法を有し、唯一の被爆国として、先制核兵器使用の恫喝は断固として許しません。

京都民主医療機関連合会
会長 河本 一成

2月24日、ロシアのプーチン政権が、ウクライナへの侵略を開始、攻撃は首都キエフを含むウクライナ全土に及び、子どもを含めた多数の民間人が犠牲になっています。

今回のロシアの行動が、「主権の尊重」、「領土の保全」、「武力行使の禁止」などを義務づけた国連憲章や国際条約の違反であり、世界平和と秩序に対する攻撃です。私たちは、ロシアに対して、軍事侵略をただちに中止すること、国際法にのっとって誠実な対話による外交に応じることを強く求めます。

今、侵されているのは、ウクライナの主権であり、人々の命です。民医連は、「人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ります」の項目を含む民医連綱領の実現に向けて、毎日の医療・介護・福祉活動にとりこんでいます。そして、何よりもいのちと人権を大切にすることを求めて、日々の医療・介護活動に全力で奮闘しています。いのちや健康への最大の敵は戦争です。世界中の国々と市民社会が「ロシアは軍事侵略をただちに中止せよ」「国連憲章を守れ」の一点で、声をあげて、力を合わせましょう。

プーチン大統領は、ロシアが核保有大国であることを誇示して、“攻撃されれば核兵器でこたえる”と公言し2月27日にはロシアの核抑止部隊に警戒態勢を命じるなど、核兵器の廃絶に向けて進みつつある世界に対する挑戦をしています。唯一の被爆国である日本から、核兵器による恫喝（どうかつ）は許せないとの声を大きく広げましょう。

世論と運動、たたかいが、平和をつくっていく力です。今、ロシア国内でも戦争に反対するデモが大規模に起こり、SNSでも抗議の声が広がっています。世論と運動でプーチン政権を包囲していきましょう。

京都民医連は、反戦平和を求める多くの人々と連帯し、今回のロシア・プーチン政権の覇権主義による侵略行為を断固として許さず、ウクライナに平和が戻るまでたたかい続けることを表明します。

以上